

5月のクラフト定例会は草木染め。今年は大阪のサークル員も参加できたので作品も増えて賑やかでした。



染める前に布を縛ったり、くくったり、板や割りばしで布を挟んだり準備にはいりました。



これかなり手が込んでいます。作品の出来上がりが楽しみです。



絞ったり挟んだりするのに色んなものが用意されています。



ねじって輪ゴムで留めたりしています。これもどんな風になるでしょうか。



こんな風に準備している間に材料を煮出しています。

今回はヨモギ、ハルジオン、ローズマリー、マツボックリ、マリーゴールド、玉ねぎの皮、ベニカナメモチ、西洋アカネ、インド藍を使いました。



ぐつぐつ煮えてきました。
でもまだ足りないようです。
そろそろ色がでてきた鍋には作品をつけている
鍋もありますね。



これは人気ですね。沢山の布が入っています。

濃くしたい人は長く。薄い色にしたい人は適当なところで鍋から取りだします。

右は藍です。これも人気です。必ずみなさん一つはこれで染めています。

あれ、手袋せずに藍染すると手も染まってしばらく取れませんよ。



媒染に重層とミョウバンを用意しました。



なんと素敵な模様。右の手作りの道具や万力、紐等を使っています。

三枚目の写真の作品の一つです。

流石ベテランの作品です。

これを見てひとりの方が来年は藍染だけで絞り等の工夫だけでしてみないかと提案がありました。素敵な提案ですが、藍を作る容器が欲しい。一年かけて大きな容器を探さないといけません。誰か大きな鍋。おけ、ベビーバスなどありません？

私は来年までに右の道具作らないと。



沢山の作品が並んできました。



これは家で試しにした染めを持って来てくれた人の作品です
シミとかいいそうですね。

これは苺の下手を並べて棒に巻いて蒸し器に入れてそめたそうです。



これは色んなアジサイの葉を使ってみたそうです。でもどのアジサイの葉が染まったのか
解らなくなったそうです。



これも色んな葉を並べて蒸したそうです。なんとも言えない雰囲気になりましたね。
面白いですね。



藍が目立ちますね。

来年はどんな草木染になるでしょうか。

楽しみです。

飛鳥里山クラブの講座を一年受講してクラブ員になって、私たちと飛鳥里山の活動に参加して色んな体験をしませんか。

退職後の若い気持ち身体を使いましょう。

